

令和7年度

～へそとスキーとワインのまち～

富良野市の概要

富良野市民憲章 昭和 44 年 7 月 28 日制定

わたしたちは、北海道の中心標が立つ富良野の市民です。
わたしたちは、この美しい自然の環境につつまれながら新しい生産都市をつくりあげるために自信と誇りをもって進みます。

- 1 明るく 健康で働くまち富良野
- 1 あたたかく みんなの幸せを願うまち富良野
- 1 大きく 未来に生きる知性のまち富良野

市歌 昭和 41 年 11 月 3 日制定

作詞：小田観瑩

作曲：八洲秀章

1 番

青空くぎれる 火の山十勝
銀雪まばゆき 大芦別に
標高きそえる 峯々いくつ
おゝ国立の 自然公園
北の峯よき スロープ曳きて
アルペンスキーに その名は高し

3 番

北国この地に 市民の矜り
歴史を継ぎつつ 守るは道義
知性の文化に 福祉の使命
おゝ広域を つなげる郷土
自治の強楯 ころろ合わせて
真向かう理想の 行手はるけし

2 番

静かに横ぎる 大河は空知
灌漑ひろびろ 恵みの富良野
田畑のみのりに 酪農植樹
おゝ商工の 栄ゆる拠点
経度も緯度も中央ここに
四方に往き来の 路線も広し

◎ 市町村コード番号 012297

01 北海道	229 富良野市
7 電算処理におけるチェック用の 検査数字	

コード番号：総務省自治行政局地域情報政策室が主に電算処理のために昭和 43 年に設定

◎ 位置・地勢

富良野市は、上川総合振興局管内の南部に位置し、北緯 43 度 9 分 24 秒 ～43 度 24 分 5 秒、東経 142 度 16 分 17 秒 ～142 度 40 分 40 秒、東西約 32.8 km、南北約 27.3 km で北海道のほぼ中心にあり富良野盆地の中心都市である。

総面積は、600.71 km² で、東方に十勝岳連峰の富良野岳（1,912m）、西方に夕張山地の芦別岳（1,726 m）がそびえ、南方には東京大学演習林（227.1 6 km²）があり、市域の約 7 割を山林が占める自然環境にある。

〔市役所位置〕

東 経	142 度 22 分 56 秒
北 緯	43 度 20 分 31 秒
標 高	171.3 m

* 市役所の位置は、国土地理院地理院地図による概略位置。富良野市

◎ 富良野の語源

アイヌ語の「フラヌイ hura-nu-i（臭・もつ・所）」が転訛したとする説が有力となっており、富良野川の水源が十勝岳であるために、硫黄の臭気を含むことから呼ばれたと考えられる。

◎ 気象

旭川地方気象台 令和 6 年 観測データ
観測所名 富良野地域気象観測所
富良野市東町 22

年平均気温	7.9℃
最高気温	(7/21) 35.4℃
最低気温	(1/21) -26.1℃
年間日照時間	1,630.3 時間
年間降水量	977.5 mm
最深積雪	(1/25) 75 cm
平均風速	1.9 m/s

過去最高気温 38.5℃（2021.8.7）

過去最低気温 -34.5℃（1977.1.29）

◎ 沿革

本市の開拓は、明治 29 年（1896）に富良野原野殖民地区画の設定が行われ、翌 30 年（1897）福岡県出身の中村千幹（なかむら ちから）氏らが現在の扇山地区に入植したことから始まる。

明治 30 年当時は富良野村の人口が稀少のため、歌志内村に歌志内村外一箇村戸長役場が置かれたが、同 32 年（1899）5 月に富良野村戸長役場が現在の上富良野町に設置された。

明治 36 年（1903）7 月 8 日、北海道庁告示により、「石狩国空知郡富良野村の南方を割き、下富良野村を置く」同日、戸長役場を下富良野村に置く、と告示され、同年 9 月 1 日下富良野村戸長役場が現在の富良野市街に開庁し、初代戸長出野務氏が就任した。富良野村は上富良野村と改称する。

その後、大正 4 年（1915）4 月山部村が分村したが、大正 8 年（1919）4 月町制を施行し富良野町となる。

また、昭和 15 年（1940）4 月山部村から東山村が分村したが、昭和 31 年（1956）9 月町村合併促進法の適用を受け東山村と合併し新富良野町が誕生、10 年後の昭和 41 年（1966）5 月には山部町（昭和 40 年 1 月町制施行）と合併し道内 29 番目の都市として富良野市が誕生した。

◎ 土地利用

R7.1.1 現在 国土地理院公表

総面積	600.71 km ² （60,071 ha）
-----	------------------------------------

※ 道内市で最大 北見市 1,427.41 km²
最小 歌志内市 55.95 km²

富良野市は道内市で 13 番目の広さ

※ 上川総合振興局管内 10,618.70 km²
最大 士別市 1,119.22 km²
最小 東神楽町 68.50 km²
富良野市は 9 番目の広さ

固定資産の価格等概要調書 R7.1.1 現在

田	37.41 km ² （ 6.2 %）
畑	71.50 km ² （11.9 %）
宅 地	10.16 km ² （ 1.7 %）
山 林	429.81 km ² （71.6 %）
原 野	27.11 km ² （ 4.5 %）
その他	24.72 km ² （ 4.1 %）
計	600.71 km ²

◎ 人 口

国勢調査（R2.10）

人口総数	21,131 人
男	9,947 人
女	11,184 人
年齢別構成	
0~14 歳	2,211 人（10.46 %）
15~64 歳	11,512 人（54.48 %）
65 歳以上	7,255 人（34.33 %）
不詳	153 人（0.73 %）
世帯数	9,538 世帯
人口密度	35.1 人／km ²

住民基本台帳（R7.3 月末現在）

人口総数	19,290 人
男	9,089 人
女	10,201 人
年齢別構成	
0~14 歳	1,831 人（9.5%）
15~64 歳	10,538 人（54.6%）
65 歳以上	6,921 人（35.9%）
世帯数	10,449 世帯
人口密度	32.1 人／km ²

（参考）

※ 北海道 R2.10.1 現在（国勢調査）

人口	5,224,614 人
世帯数	2,476,846 世帯
面積	83,424.44 km ²
人口密度	66.6 人／km ²

◎ 財 政

令和 7 年度 当初予算

一般会計	171 億 5,000 万円
特別会計	54 億 4,240 万円
国民健康保険	25 億 9,000 万円
介護保険	24 億 3,780 万円
後期高齢者医療	4 億 1,460 万円
企業会計	31 億 7,890 万円
水道事業	9 億 3,020 万円
公共下水道事業	12 億 6,840 万円
ワイン事業	9 億 8,030 万円
合 計	257 億 7,130 万円

令和 5 年度 決算（歳出）

一般会計	197 億 9,545 万円
特別会計	55 億 2,647 万円
国民健康保険	25 億 8,081 万円
介護保険	24 億 0,068 万円
後期高齢者医療	3 億 7,214 万円
簡易水道事業	1 億 7,284 万円
企業会計	24 億 9,534 万円
水道事業	6 億 6,086 万円
下水道事業	12 億 3,403 万円
ワイン事業	6 億 0,045 万円
合 計	278 億 1,726 万円

令和 5 年度 決算状況

標準財政規模	83 億 0,570 万円
積立金現在高	41 億 0,719 万円
財政調整基金	13 億 4,716 万円
減債基金	3,946 万円
特定目的基金	27 億 2,057 万円
財政力指数	0.35
実質公債費比率	8.5%
将来負担比率	49.0%
経常収支比率	91.3%
地方債現在高 （一般会計）	154 億 3,953 万円
市民一人当たり （R7.3 月末）	80.0 万円／人 （19,290 人）

◎ 生活・環境

市 道 (道路現況調査 R7.4)	路線数 968 路線 総延長 719.943km 改良率 39.54% 舗装率 51.83%
公営住宅 (都市建築課 R7.4)	19 団地 673 戸 (内道営 72 戸)
医 療	病院・診療所 11 箇所 歯科診療所 12 箇所 調剤薬局 13 箇所 (保健医療課 R7.4 月現在) 病床総数 598 床 医師総数 53 人 (R4 北海道保健統計年報)
ごみ資源化率 (環境課 R6)	89.0%
上水道等普及率 (上下水道課 R6) 事業創設認可 S37.12.28 供用開始年月日 S39.11.1	上水道 92.8% ・給水区域内人口 15,346 人 ・現在給水人口 14,239 人 簡易水道 80.5% ・給水区域内人口 1,624 人 ・現在給水人口 1,308 人 (富丘・東山市街・島の下・ 山部市街・芋田・布部市街)
下水道普及率 (上下水道課 R6) 単独公共 (富良野地区) 建設事業開始年月日 S54.12.10 供用開始年月日 H2.7.1 特環公共 (山部地区) 建設事業開始年月日 H10.9.1 供用開始年月日 H14.10.1	下水道普及率 80.2% (富良野市全体) 水洗化率 富良野地区 98.0% 山部地区 86.6% 処理区域人口 富良野地区 14,724 人 山部地区 1,009 人 水洗化人口 富良野地区 14,434 人 山部地区 874 人
公立保育所 (こども未来課 R7.4)	所 数 3 施設 (1 施設休所中) 児童数 146 人

《ごみの減量と資源リサイクル》

脱焼却・脱埋立

H13.10.1 より 14 種分別収集

- ① プラスチック類 ② ペットボトル ③ 生ごみ
④ 空き缶・金属類 ⑤ 空びん・陶磁器・ガラス
⑥ 乾電池類 ⑦ 新聞・雑誌類 ⑧ 固形燃料ごみ
⑨ 衛生用品・ペット糞等 ⑩ 枝草類 ⑪ 大型ごみ
・電気製品 ⑫ 灰 ⑬ 動物死体 ⑭ 処理困難物

《清掃事業の沿革》

- S47.8 八幡丘埋立処分場開始
S52.5 ステーション方式で収集を始める
S58.6 ごみの 3 種分別(生ごみ、その他ごみ、
乾電池)を試行
S60.4 ごみの 3 種分別収集を本格的に開始
有機物供給センター稼動
S62. ごみの 6 種分別モデル地区を設置
S63.6 ごみの 6 種分別収集を本格的に開始
(生ごみ、固形燃料ごみ、一般ごみ、
空き缶、空きびん、乾電池)
S63.7 農業廃棄物処理施設稼動
御料埋立処分場開始
H1.10 一般廃棄物処理施設(焼却施設 2 基)
稼動
H3.3 夏期間(5~11 月)農家地区のごみ収集
を開始
有機物供給センター増設
H5.4 廃棄物処理条例(改正)施行
「家庭ごみ」、「事業所ごみ」に区分
ごみの一部有料化(粗大ごみ、多量
ごみ、事業系焼却ごみ)
H6.6 農家地区のごみ収集を通年とする
(一般ごみ、固形燃料ごみ月 2 回)
富丘埋立処分場使用開始
H9.4 空きびんの共同処理開始
H9.12 富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理
検討協議会の設置
H12.6 ペットボトル分別収集開始(共同)
H13.1 プラスチック類分別収集開始(共同)
H13.10 14 種分別収集開始
H14.3 固形燃料化施設設備更新
H14.12 衛生等ごみ広域共同処理開始(上富)
H15.4 空きびん、プラスチック、ペットボ
トルを資源回収センター(中富)で広域
共同処理開始
環境衛生センターに生ごみ搬入開始
H16.4 動物死体の広域共同処理開始(南富)
H16.11 農村地区生ごみ収集開始(冬期間)
H19.4 プラスチック類の分別区分を変更
H20.9 レジ袋有料化
H26.4 衛生用品の固形燃料化実証実験を通年
実施
H29.7 ごみ分別用アプリ『富良野市ごみ分別
ナビ「ごみナビ」』をリリース
H29.10 ごみ分別説明会開催(全 26 回)
H30.4 一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基
本計画)一部見直し
R1.6 固形燃料ごみ塩分ダイエット開始

◎ 教 育

幼稚園・ 認定こども園 (R7.5)	園数 4 園 園児数 217 人
小学校 (R7.4)	校数 7 校 (うち 1 校小中併置校、1 校義務教育学校) 児童数 761 人 対前年度 39 人減、4.88%減 学級数 63 学級
中学校 (R7.4)	校数 4 校 (うち 1 校小中併置校、1 校義務教育学校) 生徒数 487 人 対前年度 17 人増、3.62%増 学級数 31 学級
高等学校 (R7.4)	校数 1 校 生徒数 474 人 対前年度 44 人減、8.49%減 (専攻科 9 人含む)
専修学校 (R7.4)	校数 1 校 (富良野看護専門学校) 学生数 51 人 入学定員 30 人 就業期限 3 年

◎ 市指定文化財

○ 富良野獅子舞(昭和 44 年 2 月 19 日指定)

学田三区に入植した農民により伝承された大型の越中獅子舞。明治 42 年から始まり、『学田三区獅子舞』として市民に親しまれたが、戦後若者の流出のため中断した。

昭和 44 年、富良野工業高校生によって復活し、『富良野獅子舞』と改名した。現在市街の青年の人々により伝承されている。

○ 北海道中央経緯度観測標

(昭和 46 年 7 月 13 日指定)

大正 3 年、京都帝国大学教授新城新蔵博士が中心となり、地球重力・経緯度の測定のため富良野小学校校庭に長さ 95cm、幅 65cm の長方形のコンクリートの台座を建てた。この地点が北海道の中央にあたることから『北海道中心標』と呼ばれ、俗に『北海道のへそ』として市民に親しまれている。

○ 北海道大学第八農場山部成壑記念碑

(平成 15 年 12 月 22 日指定)

北海道大学の前身の札幌農学校第八農場の開墾がほぼ完了したことを記念して小作人たちが明治 42 年 6 月に建立。市内最古の記念碑である。

○ 北海道大学第八農場富良野成壑記念碑

(平成 15 年 12 月 22 日指定)

北海道大学の前身である札幌農学校第八農場の小作人たちが開拓地の開墾がほぼ完了したことを記念して明治 42 年 7 月に建立。山部成壑記念碑と同様の碑で、富良野市の開拓の歴史を物語る貴重な石碑である。

◎ 産 業

	(国勢調査 R2.10)
産業別人口	10,779 人
第 1 次産業	2,188 人 (20.3%)
第 2 次産業	1,201 人 (11.2%)
第 3 次産業	7,250 人 (67.3%)

○ 農 業

(令和 6 年度 富良野農業の概要 令和 5 年度データ)	
作付耕地面積	9,039ha
農家戸数	507 戸
農畜産物販売高 (内訳)	204 億 1,500 万円
野菜	105 億 0,400 万円(51.45 %)
畜産物	32 億 2,200 万円(15.78 %)
米	3 億 9,100 万円(1.92 %)
麦類	6 億 2,000 万円(3.04 %)
豆類・雑穀	4 億 7,900 万円(2.35 %)
イモ類	1 億 9,700 万円(0.96 %)
果樹	6,000 万円(0.29 %)
花卉	2,200 万円(0.11 %)
その他	49 億 2,100 万円(24.10 %)

☆ 主な農産物

たまねぎ	(作付面積 1,430 ha)
にんじん	(作付面積 167 ha)
かぼちゃ	(作付面積 165 ha)
アスパラガス	(作付面積 39 ha)
スイートコーン	(作付面積 227 ha)
メロン	(作付面積 156 ha)
スイカ	(作付面積 115 ha)
加工用ぶどう	(作付面積 32 ha)

(令和 6 年度 富良野農業の概要 令和 5 年度データ)

○ 工 業

	(令和 2 年度 工業統計調査) ※従業者 4 人以上の事業所が対象
製造品出荷額	70 億 4,153 万円
事業所数	21 箇所
従業者数	351 人

○ 商業

	(商業統計調査 H28.6)
年間商品販売額	4,041,800 万円
事業所数	255
従業者数	1,613 人

◎ 観 光

(商工観光課 令和6年度)	
観光入込者数	1,853,839 人
対前年度	35,605 人減 1.9 %減
宿泊客数	536,609 人
対前年度	54,196 人増 11.2 %増
うち外国人	148,177 人
対前年度	17,698 人増 13.6%増
宿泊延数	863,657 人
対前年度	94,835 人増 12.3 %増
うち外国人	313,211 人
対前年度	56,644 人増 22.1%増

(市外局番 0167)

- ふらのワイン工場：清水山 Tel 22-3242
URL <http://www.furanowine.jp/>
Email info@furanowine.jp
- ふらのワインハウス：清水山 Tel 23-4155
URL <http://www.furano.ne.jp/winehouse/>
- ハイランドふらの：島の下 Tel 22-5700
URL <http://highland-furano.jp/>
- 富良野チーズ工房：中五区 Tel 23-1156
URL <http://www.furano-cheese.jp/>
- 空知川ラベンダーの森ゴルフコース
：信濃沢 3702-1 Tel 22-4110
URL <http://www.furano.ne.jp/golf/>
- 富良野演劇工場：中御料 Tel 22-3800
URL <http://www.furano.ne.jp/engeki/>
- ふらの観光協会インフォメーションセンター
：日の出町 1-30 Tel 23-3388
URL <http://www.furano-kankou.com/>
- 富良野市生涯学習センター（博物館）
：山部東 21 線 12 番地 Tel 42-2407
URL <http://furano.sub.jp/>

○ ふらのまちづくり(株)

：幸町 13-1 フラノマルシェ Tel 23-5177

URL <http://www.furano.ne.jp/furano-machi/>

○ 富良野美瑛広域観光推進協議会

：本町 2-27

Tel 39-2312

URL <http://furanobie.hokkaido.jp/>

○ 北海へそ祭り

URL <https://hesomatsuri.com/>

◎ 特産品

○ ふらのワイン・ふらの ぶどう果汁

農業生産地帯の補完作物や、農家の自立経営を目標に稲作転換事業の一環としてワイン用ぶどうの栽培に取り組む。また、自然休養村事業として農産物処理加工施設（ワイン工場）を建設し、原料用ぶどうの生産、ワインの醸造、販売までの一元化されたシステムを確立する。

S47.4 富良野市ぶどう果樹研究所を設置

S51.10 果実酒期限付き製造免許許可

S52.2 ワイン工場及び事務所落成

S53.1 ふらのワイン（赤・白）の販売開始

S55.4 果実酒製造本免許許可

S57.9 1982 年モンド・セレクション金賞受賞

S60.4 一般会計から事業特別会計へ移行

H1.9 ぶどう果汁工場竣工・果汁発売

H9.4 事業特別会計から公営企業会計へ移行

R4.10 50 周年記念式典を挙行

【ワイン 令和 5 年度販売実績】

・販売数量 132,412 ㍺

(18 万 3,906 本 (720ml 換算))

・販売金額 266,871 (千円)

【ぶどう果汁 令和 5 年度販売実績】

・販売数量 4,986 ㍺

(6,925 本 (720ml 換算))

・販売金額 4,473 (千円)

* 金額は税抜。種類数は全道販売商品のみ（地域・季節限定商品を除く）



○ ふらのチーズ

農業振興の一環として、牛乳消費拡大と合わせ、乳製品加工の開発製造を行い、新しい食生活を創造すると共に地場産業の創出と農家経済の安定向上を進め、定住促進と就業の場を確保するための事業として実施。

S54.5 富良野市農産加工技術開発専門委員会設置

S58.11 株式会社 ふらの市農産公社設立

S58.12 ふらのチーズ工場オープン

H5.7 富良野チーズ工房竣工

H8.6 ふらのアイスマルク工房オープン

H11.4 富良野手づくり体験工房オープン

H13.2 株式会社 ふらの農産公社に改称

H19.4 ふらのピッツア工房オープン



◎ 主なイベント（令和6年度）

○ GREAT EARTH 第16回北海道富良野ライド
2024.6.23（日）

○ 第56回北海へそ祭り
2024.7.28（日）-29（月）

○ ふらの花火大会
2024.8.10（土）

○ ふらのワインぶどう祭り
2024.9.1（日）

○ bonchi fes. Furano 2024
2024.9.6（金）-8（日）

○ ふらの演劇祭
2024.10.12（土）-14（月）

○ ふらのワインで乾杯のつどい
2024.11.20（水）

○ ふらの歓寒村
2024.12.21（土）-2025.2.28（金）

○ ふらの bonchi powder フェスティバル
2025.2.1（土）-2（日）



◎ スキーの歴史

一説には1912年（明治45年）ころから登山愛好家によって山スキーが始まったといわれている。1962年（昭和37年）富良野商工会議所を中心に法人を設立。同年12月に第一リフト（800m）完成。翌年に温泉ホテルが開業し、第二リフト完成。

以降、国民体育大会・アルペンワールドカップ・全国高等学校選抜スキー大会の開催など競技スキー場として注目された。2002年（平成14年）には101人乗りの富良野ロープウェイが運行開始するなど発展を続けている。

【FISワールドカップ富良野大会 計12回】

スキー：S52・S54・S56・S58・S60・S61・S62

H元・H3・H7【10回】

スノーボード：H18・H19【2回】

【全国高等学校選抜スキー大会】

H17～27【11回】

◎ 市長の任期

任期満了年月日 令和8年5月14日

※ 任期の根拠

昭和41年5月1日 富良野町・山部町
対等合併

任期起算年月日 昭和41年5月15日

◎ 市職員

令和7年5月1日現在

・特別職	3名
・部長職	10名
・課長職	47名
・係長職	66名
・係職	122名
合計	248名

○ 職員定数条例（令和4年4月1日改正）

・市長の事務部局の職員	190名
・議会の事務部局の職員	4名
・選挙管理委員会の事務部局の職員	1名
・監査委員の事務部局の職員	2名
・農業委員会の事務部局の職員	4名
・地方公営企業（水道事業）の事務部局の職員	14名
・教育委員会の事務局及び学校その他の教育機関の職員	60名

◎ 議 会

条例議員定数	16 人
現員数	16 人
議員任期満了日	令和 9 年 4 月 30 日
常任委員会	総務文教委員会 経済建設委員会 市民福祉委員会

※ 任期の根拠

昭和 41 年 5 月 1 日 富良野町・山部町
対等合併

任期起算年月日 昭和 42 年 5 月 1 日

○ 会派構成

- ・富良野クラブ 6 人
- ・ふらの未来の会 4 人
- ・市民連合議員会 3 人
- ・無会派 3 人

◎ 地域指定の状況

- ・山村振興地域（山部地区）
昭和 48 年 3 月 5 日 総理府告示第 8 号
指定番号 1160 号
- ・特別豪雪地帯
昭和 48 年 4 月 14 日 総理府告示第 13 号
- ・特定農山村地域（山部地区）
平成 5 年 9 月 28 日 国土庁、農林水産省、
通産省、建設省、自治省告示第 1 号
- ・過疎地域
令和 4 年 4 月 1 日 総務省、農林水産省
国土交通省告示第 3 号
- ・辺地地域

◎ 広域行政・連携

○ 富良野広域連合

平成 20 年 9 月 1 日設立

○ 上川教育研修センター組合

昭和 47 年 9 月 1 日設立

○ 富良野地区定住自立圏形成協定

〔富良野市⇄上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村〕

平成 25 年 12 月 25 日締結

◎ 第 3 セクター等

- ・株式会社 富良野振興公社
設立 昭和 37 年 11 月 26 日
島ノ下 Tel 23-2500
- ・ふらのバス 株式会社
設立 昭和 58 年 6 月 21 日
住吉町 1-1 Tel 23-3131
- ・株式会社 ふらの農産公社
設立 昭和 58 年 11 月 15 日
中五区 Tel 23-1156
- ・株式会社 空知川ゴルフ公社
設立 昭和 63 年 8 月 1 日
信濃沢 3702-1 Tel 22-4110
- ・ふらのまちづくり 株式会社
設立 平成 15 年 10 月 28 日
幸町 13-1 Tel 23-5177

◎ 富良野市名誉市民

- 第1号 竹 内 武 夫 氏
昭和 37 年 12 月 13 日 顕彰
- 第2号 名 取 マ サ 氏
昭和 40 年 3 月 27 日 顕彰
- 第3号 植 木 吉太郎 氏
昭和 43 年 11 月 3 日 顕彰
- 第4号 鎌 田 繁 雄 氏
昭和 48 年 12 月 17 日 顕彰
- 第5号 高 松 竹 次 氏
昭和 58 年 10 月 8 日 顕彰
- 第6号 奥 野 善 造 氏
平成 5 年 9 月 3 日 顕彰
- 第7号 高 井 弥太郎 氏
平成 5 年 9 月 3 日 顕彰
- 第8号 滝 口 國一郎 氏
平成 12 年 11 月 3 日 顕彰
- 第9号 藤 野 貞 雄 氏
平成 15 年 9 月 1 日 顕彰
- 第10号 山 谷 馨 氏
平成 15 年 9 月 1 日 顕彰
- 第11号 本 間 勲 氏
令和 5 年 11 月 3 日 顕彰

〔都市宣言〕

- 昭和 42 年 10 月 9 日 青少年健全育成都市宣言
- 昭和 42 年 10 月 9 日 交通安全都市宣言
- 昭和 53 年 3 月 23 日 青色申告と諸税完納都市宣言
- 平成 4 年 3 月 19 日 暴力追放都市宣言
- 平成 5 年 1 月 22 日 食と自然を守る都市宣言
- 平成 22 年 9 月 17 日 世界平和・非核平和都市宣言

〔友好都市〕

- オーストリア共和国 シュラートミンク市 (Schladming)
昭和 52 年 2 月 23 日 友好都市提携に関する規約
オーストリア共和国のシュタイヤマルク州の景勝地ダッハシュ
タイン・タオエルン地方の中心部に位置する。
『スキーと観光のまち』 <http://www.schladming.at>
- 兵庫県 西脇市
昭和 53 年 10 月 20 日 友好都市親善協定締結
兵庫県の内陸部に位置し、東経 135 度、北緯 35 度日本の中心を
通る経緯度標識がある緑と清流に囲まれた文化工芸都市。
『日本のへそ』 <https://www.city.nishiwaki.lg.jp/>
- 台湾 台南市
令和 6 年 8 月 28 日 友好交流都市協定締結
台湾海峡に面する台湾南西部に位置し、旧跡と現代的な都市景観
が併存する。台湾発祥の地とされている。
『台湾の古都』 <https://www.tainan.gov.tw/>

〔市の花・木・鳥・獣〕

(昭和 48 年 9 月 14 日制定)

- 市の花 エゾムラサキツツジ
- 市の木 イチイノホオノキ
- 市の鳥 クマゲラ
- 市の獣 エゾリス

〔主要構想・計画〕

- 名 称 第 6 次富良野市総合計画
 - まちづくりスローガン 「美しい」のその先へ。WA！がまち、ふらの
 - まちづくりコンセプト 4つのWA！
 - ひとのWA！ 「輝く。」「つながり合う。」
 - しごとのWA！ 「創る。」「まわす。」
 - まちのWA！ 「想う。」「みがき合う。」
 - 自然のWA！ 「感じる。」「つなげる。」
- 2つの基本アプローチ
- 「共創」「デジタル」
- 基本構想 令和 3 年度～令和 12 年度
 - 基本計画 (前期基本計画) 令和 3 年度～令和 4 年度
(中期基本計画) 令和 5 年度～令和 8 年度
(後期基本計画) 令和 9 年度～令和 12 年度



市 章（昭和 41 年 10 月 15 日制定）

昭和 41 年、新市発足とともに市民の総意に基づく市章の制定を企画し多くの応募作から選択採用したものです。

意匠は富良野の頭文字「フ」、外周の輪（三分して富良野・山部・東山の地域を表したものの）、この二つを組み合わせました。フの字の鋭角、稜線は富良野を取り巻く山岳美を描いたもので市勢の雄飛発展を表し、円の輪は悠久の平和と市民の調和を象徴しています。

作成

令和 7 年 6 月 1 日

富良野市総務部企画振興課

TEL 0167-39-2304 Fax 0167-23-2120

<http://www.city.furano.hokkaido.jp>